

「スポーツを活用したまちづくり」の推進



川崎はスポーツも盛んです。
 多彩なスポーツイベントには多くの市民が参加しています。
 また、川崎をホームタウンとするスポーツのトップチームやトップアスリート達の活躍は、川崎を全国にアピールし、市民に元気を与え、川崎への愛着や誇りを育みます。

(単位:千円)

サッカー



サッカーJリーグの市民クラブであり、平成19年度にはナビスコカップ準優勝、J1リーグ5位などの躍進を続ける川崎フロンターレの支援と応援を通して、市民の連帯感を深めるとともに、スポーツ振興・青少年の健全育成などを進めます。

- ・川崎フロンターレとの連携事業 3,000
- ・川崎フロンターレ後援会の支援 22,800
- ・等々力陸上競技場の補修 62,000

アメリカンフットボール



平成19年7月に開催され、日本が準優勝した「第3回アメリカンフットボールワールドカップ2007川崎大会」を契機に、競技団体、地域、市民と連携して、地域活性化や青少年の健全育成など、アメリカンフットボールを活用したまちづくりを推進するとともに、川崎をアメリカンフットボールの拠点にするための取組みを進めます。

- ・アメフトを活用したまちづくりの推進 15,179
- ・アメフトを活用した川崎区のイメージアップ 4,165
- ・アメフト等を通じた中原区の活性化 1,874
- ・川崎球場の維持管理 53,761



陸上競技

平成20年6月には、北京オリンピックの代表選手選考会となる「日本陸上競技選手権大会」が、20年9月には、北京オリンピックのメダリスト等が集う「スーパー陸上競技大会」が等々力陸上競技場で開催されます。

- ・日本陸上競技選手権大会及びスーパー陸上競技大会の支援等 115,352



ホームタウンスポーツ

ホームタウンスポーツ推進パートナーは、スポーツ教室やふれあいトークショーなどの市民参加のイベントを通じ、スポーツ振興やまちづくりを進めています。

ホームタウンスポーツ推進パートナー

- ・NEC女子バレーボール部 (NECレッドロケッツ)
- ・川崎フロンターレ
- ・東芝野球部
- ・東芝バスケットボール部 (東芝ブレイブサンダース)
- ・中田大輔選手 (トランポリン)
- ・富士通アメリカンフットボール部 (富士通フロンティアーズ)
- ・富士通女子バスケットボール部 (富士通レッドウェーブ)
- ・三菱ふそう川崎硬式野球部

生涯スポーツ振興・推進



市民のひとりひとりがスポーツに親しめる「健康スポーツ都市かわさき」の創造をめざしています。

- ・多摩川マラソン及び多摩川リバーサイド駅伝等 27,503
- ・親子スポーツ教室の開催等 8,006
- ・総合型地域スポーツクラブの育成 676
- ・川崎市体育協会の支援 11,222